



NISHI EYE HOSPITAL

西眼科だより 第16巻2号

(季刊誌)

2014年6月発行

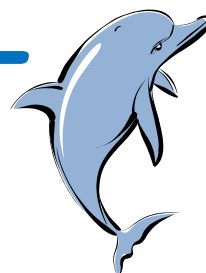
編集責任者：倉橋美雪

Nishi Eye Hospital

西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26 TEL: 06-6981-1132

〈ホームページ〉 <http://www.nishi-ganka.or.jp>

フェムトセカンドレーザー 白内障手術



世界最先端の「フェムトセカンドレーザー白内障手術」を白内障のある方に導入しています。水晶体囊の前面を真円に切除する事が可能で、眼内レンズを水晶体囊の中心に固定でき、レンズの偏位や傾きを最小限にする事ができます。水晶体の分割も可能で、超音波乳化のエネルギーを大幅に低減し、眼の負担が少ない方法です。より質の高い良好な視機能が得られます。日本では厚生労働省にまだ承認されておられませんので「自費診療」となります。



多焦点眼内レンズ

プレミアムレンズ《老視矯正眼内レンズ》

白内障のある方には、現在、次のような眼内レンズを使用して治療を行っています。通常の「単焦点眼内レンズ」か「多焦点(2重焦点)眼内レンズ」または「多焦点(3焦点)眼内レンズ」を選択していただく事ができます。

★多焦点(2重焦点)眼内レンズ mIOL

近くにも遠くにもピントが合う2重焦点(遠近両用)の眼内レンズです。当院で行う「多焦点(2重焦点)眼内レンズを用いた白内障手術」は「先進医療」として厚生労働省に承認されています。通常の単焦点眼内レンズと比べ、白内障手術後の生活におけるメガネの必要性が大きく減少します。多焦点眼内レンズの事をもっと知りたい方は当院スタッフまでお尋ねください。適応・費用・生命保険適応の点も含め、ご説明致します(DVD鑑賞(約10分)有)。

★多焦点(3重焦点)眼内レンズ tmlOL

現在ヨーロッパでは主流になりつつあるレンズです。遠近両用(2重焦点)の眼内レンズを更に進化させ、中間距離(50cm~1m程の距離)にもピントが合う3重焦点眼内レンズを導入しています。非常に良好な視機能が得られています。日本では先進医療として厚生労働省にまだ承認されておられないので術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代含む)3重焦点眼内レンズに関わる治療代は全て「自費診療」となります。

★アドオン(Add-On)追加挿入型 多焦点(遠近両用)眼内レンズ

既に白内障手術を受けられ、従来の単焦点眼内レンズを挿入されている方に更にもう1枚多焦点(2重焦点)眼内レンズ Add-On(ドイツ製)を追加挿入し遠方近方両方に焦点が合うようにすることができます。3重焦点眼内レンズと同様に、日本では先進医療として厚生労働省にまだ承認されておられないので Add-On に関わる治療代は全て「自費診療」となります。

屈折矯正手術のいろいろ

詳しくは当院スタッフまでお尋ねください。



有水晶体眼内レンズ(フェイクIOL)

白内障手術を応用した手術で、水晶体をそのまま残し眼内レンズを挿入して矯正します。LASIKでは矯正できない「高度近視」や「角膜の薄い方」に効果的です。

レーシック(LASIK)・Epi-LASIK・LASEK・PRK

エキシマレーザーによる「近視」・「遠視」・「乱視」を矯正する手術です。

タッチアップ

エキシマレーザーによる「白内障術後の屈折力の差」を改善する手術です。

ピーティーケー(PTK)

エキシマレーザーによる「角膜変性症」・「帯状角膜変性」を治療する手術です。当院では保険が適応されます。

クロスリンク(CXL)

「円錐角膜」・「角膜拡張症」の進行を抑えることを目的とし、角膜の実質の強度を高め、コンタクトレンズの装用も可能にする新しいレーザー治療です。近年最も注目されている治療の一つです。

コンタクトレンズによる オルソケラトロジー

ナイトレンズ(コンタクトレンズ)を就寝中に装用し角膜形状を矯正します。朝レンズを外し、昼間は裸眼視力を維持します。効果は非常に良好です。